



校歌

松岡 譲 作詞
小山郁之進 作曲

- 一 松の緑に照り映えて
砂丘につる花ばたけ
色とりどりのその理想
希望と咲いて匂うかな
見よ見よ我等が梨の花
- 二 見国ヶ丘の学び舎に
吹き入る朝の青あらし
身も魂も浄かれと
努めはげまん いぎやいぎ
見よ見よ我等が梨の花
- 三 高志の国原 黄金なす
みのりゆたけき 豊栄の
郷に手をとる 若人ら
永久の栄の実を結ばん
見よ見よ我等が梨の花

校歌をつくった人

○作詞 松岡 譲

1891年生まれ。新潟県現長岡市出身。東京帝国大学文学部在学中に、夏目漱石の門人となる。1918年漱石の長女筆子と結婚。「漱石の思い出」「敦煌物語」などの作品を発表し、小説家としての道を歩んだ。

○作曲 小山郁之進

1911年生まれ。東京都出身。武蔵野音楽学校研究科卒。同校教授を経て、新潟大学教育学部教授として活躍する。日本現代音楽協会、音楽学会会員、上越音楽研究会会長、ピアノ曲、歌曲、校歌の作曲を手がけた。